

平成30年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第5号(8月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（平成30年7月26日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
平年並か低い	平年並か少ない	平年並か多い

○8月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名	7月の発生量 (現況)	8月の 増減傾向	増減傾向の根拠
カンショ	① ナカジロシタバ	並	↗	幼虫数の例年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えられる。
	② イモキバガ	並	↗	被害葉率の例年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えられる。
かんきつ (温州みかん)	① かいよう病	並	↘	発病果率の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。
	② そうか病	並	↘	発病果率の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。
	③ アブラムシ類	並	→	寄生新梢率の例年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。
	④ ミカンハモグリガ	並	↗	寄生新梢率の平年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えられる。
	⑤ ハダニ類	並	↗	今後1か月の降水量が平年より少ない見通しから、7月より発生量は増加すると考えられる。
かんきつ (タンカン)	① かいよう病	並	↗	発病果率及び発病葉率の平年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えられる。
	② そうか病	並	↘	発病葉率の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。
	③ アブラムシ類	並	↘	寄生新梢率の例年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。
	④ ミカンハモグリガ	並	→	寄生新梢率の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。
	⑤ ハダニ類	並	↗	今後1か月の降水量が平年より少ない見通しから、7月より発生量は増加すると考えられる。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○8月の発生予報つづき（沖縄群島）

作物	病害虫名	7月の発生量 (現況)	8月の 増減傾向	増減傾向の根拠
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	↘	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。
	② マンゴーハフクレタマバエ	やや多	↗	発生株率の平年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えられる。
	③ ハダニ類	並	↘	雌成虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。
へちま	① ベと病	並	→	発病葉率の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。
	② ハモグリバエ類	(発生なし)並	→	寄生葉率の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。
	③ ヒメクロウリハムシ	並	↘	成虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。
	④ ミナミキイロアザミウマ	多	→	つる先と葉の成虫数の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。
オクラ	① うどんこ病	(発生なし)並	↗	発病葉率の平年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えられる。
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	並	↗	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えられる。
	③ アブラムシ類	並	↘	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。
	④ チョウ目幼虫 (オオタバコガを除く)	(発生なし)並	↘	幼虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	バッタ類	伊計島内陸部及び読谷村の一部ほ場で多発生。 伊計島ではタイワンツチイナゴの成虫が優占しているが、読谷村ではバッタ類の幼虫による甚大な食害が見られる。 畑地内や周辺のイネ科雑草は、若齢幼虫の好適な餌となるため、除草に努める。 成虫では防除が困難になるので、若齢幼虫期をねらった薬剤防除に努める。 成虫の多発生地域では、翌年の発生を抑制するため収穫後（3～4月）に碎土を行い卵塊を破壊する。

○その他注意すべき病害虫つづき（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	アオドウガネ	防除員の報告によると、久米島で多発生。 若齢幼虫期での防除が効果的なため、培土時に粒剤処理する。 夏植えする場合は植付け時に粒剤処理する。
さとうきび	メイチュウ類	防除員の報告によると、久米島で多発生。 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。 ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。 粉剤の場合は、茎と葉元の間散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。 培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。
カンショ	アリモドキゾウムシ	読谷村の一部ほ場で発生を確認。 本種はカンショの重要病害虫であり、食害により果実を黒変させる。 発生量は6月から多くなり、8～9月にピークになる。 連作を避け、本種の発生源となる収穫残さ（被害いも、つる）をほ場に残さないようにする。 ためし堀りを行い、塊根に被害が認められたら早めに収穫する。
カンショ	エビガラスズメ	読谷村の一部ほ場で各齢幼虫が発生。 また、読谷村及びうるま市の一部ほ場で老齢幼虫が多発生。 摂食量が極めて多い老齢幼虫は、発見次第捕殺する。
かんきつ類	ミナミトゲヘリカメムシ	防除員の報告によると、本島北部で多発生だった。 ほ場内をこまめに観察し、飛来を確認したら早期防除に努める。
マンゴー	炭そ病・軸腐病	せん定枝や収穫後の残さは感染源となるのでほ場外に持ち出し処分する。
スイカ	タバココナジラミ	防除員の報告によると、本島北部のほ場で、成虫の多発生が確認された。 防除においては、ほ場周辺の雑草は発生源になるので除去する。 本種は葉の白化を引き起こすので、出入り口の防虫ネットを二重にするなどして、ほ場内への侵入を防止する。 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。 また、薬剤抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や微生物農薬を使用する。

平成30年度 宮古群島 病害虫発生予報 第5号(8月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（平成30年7月26日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
平年並か低い	平年並か少ない	平年並か多い

○8月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	7月の発生量 (現況)	8月の 増減傾向	増減傾向の根拠
さとうきび	① アオドウガネ	多	↘	成虫の主な発生時期は5月～7月であることから、7月より発生量は減少すると考えられる。
	② メイチュウ類 (カンシャシンクイハマキ)	多	→	トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。
	③ メイチュウ類(イネヨトウ)	並	→	トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	↗	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えらる。
	② マンゴーハフクレタマバエ	並	→	発生株率の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。
	③ ハダニ類	並	↘	雌成虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えらる。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	黒穂病	防除員からの報告によると、伊良部島で中発生が確認された。胞子の飛散を防ぐため、できるだけ鞭状体出現前に抜き取り処分する。
さとうきび	バッタ類	来間島における調査により、バッタ類の多発生が確認された。幼虫の発生も確認されたことから、今後の増加が予想される。畑地内や周辺のイネ科雑草は、若齢幼虫の好適な餌となるため、除草に努める。 若齢幼虫期の発生時期をねらった薬剤による防除が効果的である。
マンゴー	炭そ病・軸腐病	せん定枝や収穫後の残さは感染源となるのでほ場外に持ち出し処分する。

平成30年度 八重山群島 病害虫発生予報 第5号(8月予報)

○向こう1か月の天候の見通し(平成30年7月26日発表:沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
平年並か低い	平年並か少ない	平年並か多い

○8月の発生予報 (八重山群島)

作物	病害虫名	7月の発生量 (現況)	8月の 増減傾向	増減傾向の根拠
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシンクイハマキ)	並	↘	トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。
	② メイチュウ類(イネヨトウ)	やや少	→	トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	→	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。
	② マンゴーハフクレタマバエ	多	↗	発生株率の例年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えられる。
	③ ハダニ類	多	↗	雌成虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えられる。
オクラ	① うどんこ病	やや少	↘	発病葉率の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	並	→	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。
	③ アブラムシ類	やや少	↘	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。
	④ オオタバコガ	(発生なし)やや少	↘	幼虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

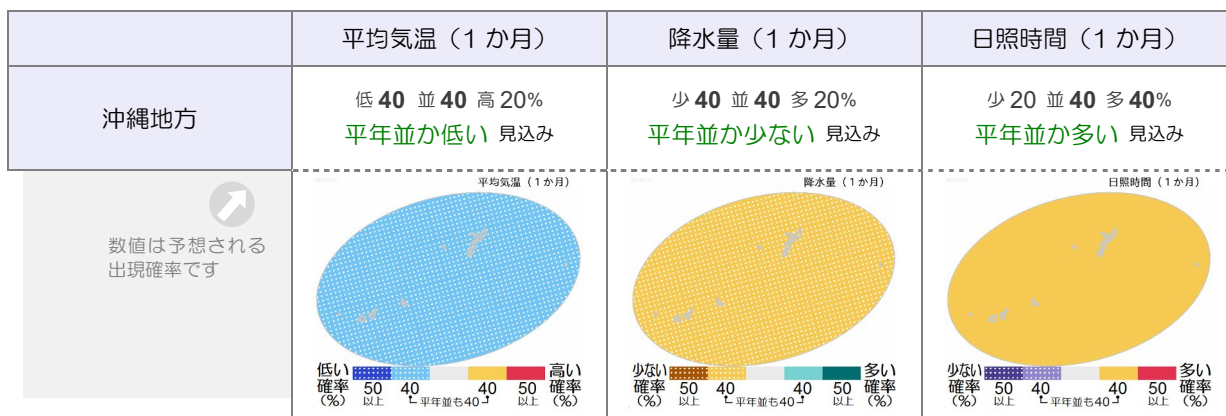
作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	黒穂病	防除員からの報告によると、波照間島で小発生が確認された。 胞子の飛散を防ぐため、できるだけ鞭状体出現前に抜き取り処分する。
さとうきび	バッタ類	7月中旬の調査の結果、成虫数0.4頭/m ² 、発生ほ場率66.7%、発生種はヒゲマダライナゴ及びチュウゴクヒゲナガイナゴで、北部地域の一部ほ場で多発した。 また与那国町の多発ほ場におけるヒゲマダライナゴ成虫数は1.2頭/m ² で、小浜島の一部ほ場でも多発生が確認された。 ほ場周辺のイネ科雑草や牧草は若齢幼虫の餌場となるため、除草や早期刈り取りに努める。 成虫では防除が困難になるので、若齢幼虫期をねらった薬剤防除に努める。
マンゴー	炭そ病・軸腐病	せん定枝や収穫後の残さは感染源となるのでほ場外に持ち出し処分する。

向こう 1 か月の天候の見通し 沖縄地方（7 月 28 日～8 月 27 日）

予報のポイント

- 向こう 1 か月の天候は、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。向こう 1 か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込みです。
- 沖縄地方は周辺の海面水温が低く、向こう 1 か月の平均気温は平年並か低いでしょう。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間



週別の天候

(1 週目) 7/28～8/3	(2 週目) 8/4～10	(3～4 週目) 8/11～24
高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>

本 所	〒902-0072 那覇市字真地123 TEL 098-886-3880 FAX 098-884-9119
宮古駐在	〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40(農研センター宮古島支所内) TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474
八重山駐在	〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6(農研センター石垣支所内) TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157